

「入学を志願したきっかけとフィジカルアセスメントの実習を行って」

令和3年度在宅ケア認定看護師教育課程 研修生

友成 美香(徳島県:訪問看護ステーション・暁)

徳島大学で「在宅ケア分野の認定看護師教育課程」が開講されると知り、入学説明会およびオンラインセミナーへ参加し、研修生の在宅ケア認定看護師への期待や現在、在宅分野で活躍中の方の話を行いました。その中で、患者の病態について適切なアセスメント能力や看護技術および実践力、対話力、知識などを習得し、地域貢献、社会貢献、後進育成を実践したいと考え入学を志願しました。

現在、コロナ禍の状況下においてeラーニングの自己学習やオンライン授業が主流となっています。7月に久しぶりの対面授業によるフィジカルアセスメントの実習を行いました。eラーニングで何度も事前に視聴確認し、演習に臨んだのですが、看護師経験だけでは歯が立たず、身体の生理、病態の知識、診療技術の奥深さを痛感しました。このように、未知の領域である諸々の知識を学習していくことは大変ですが、楽しいです。

今後、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術および知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を身につけるためにも、フィジカルアセスメントは必要不可欠です。この力を身につけ、また習得した様々な知識、技術をスタッフにも教授し、共に成長していきたいです。



私の宝物であり、大切なスタッフです。(右手前が友成研修生)